

西部水産振興だより

第47号
2021.9

- ★ 海岸のごみをなくす活動は海の環境を守ること …… 1
- ★ 令和3年度上半期の主な事業 …… 2
- ★ トピックス
(水中ドローンを水産業に活用・大楠海岸にハマグリを増やす取り組み)
長井町漁協のホームページ・YouTubeができました …… 3
- ★ 令和3年度の役員及び評議員・令和2年度決算の概要 …… 4

一般財団法人 横須賀西部水産振興事業団
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2 ☎046-857-6596
URL <https://www.yokosuka-seibusuisan.org>

「西部水産振興だより」のバックナンバーや
「小田和湾の藻場環境」のパンフレットが
ダウンロードできます。ぜひご覧ください！



海岸のごみをなくす活動は海の環境を守ること

公益財団法人かながわ海岸美化財団は、平成3年に神奈川県と相模湾沿岸の13市町等によって設立された日本で唯一の海岸美化専門の団体で、神奈川県の約150kmの自然海岸を年間通して清掃をしています。
今回、きれいな海を取り戻す財団の活動について紹介します。



海岸を清掃するビーチクリーナー

今、海のプラスチックごみが非常に注目されています。2050年には世界の魚の量よりプラスチックごみのほうが多くなる予測もありますが、当財団の調査でも、海岸の人工ごみ(カンやペットボトルなど木材や海藻以外のごみ)に混じるプラスチックの割合が30年前は約4割でしたが、現在は約6割まで増えています。



人工ごみを並べたもの(カン・ピンは約30%、プラごみは約60%)

こうした状況に対し、私たちにできることは何でしょう？

入口と出口の両方から取り組みが必要です。入口は私たちの日々の暮らしです。暮らしの中で、なるべくプラスチックごみを出さないことが大切です。一方、出口は海岸。海岸は海ごみの最後の砦です。ここで回収しなければ、そのごみは永遠に海に存在し続けます。つまり、海岸でごみを拾うことは、単にそのエリアをキレイにするだけでなく、海の環境を向上させる取り組みと言えます。

この積み重ねが多く魚が暮らせる海の豊かさを守り、水産振興につながっていくと思います。

公益財団法人

かながわ海岸美化財団 の情報サイト
<http://www.bikazaidan.or.jp>



海岸に漂着したごみ

では、これだけの大量のごみはどこから来ているのでしょうか？

海岸ごみと言うと、海に遊びに来た人が残していったものというイメージがありますが、そうしたごみは、実は全体の約3割に過ぎません。残りの7割は川を通じて来ている。陸域に捨てられたごみが雨によって川に流れて、それらが海までやってきます。

当財団では、職員が150 kmの海岸を5つのエリアに分けて毎日パトロールしてごみの状況を把握し、それを翌週以降の清掃計画に反映させ、効率的、効果的な清掃を実施しています。清掃では、人力だけでなく、「ビーチクリーナー」という専用の重機も使用し、広いエリアを短時間で清掃できます。

また、当財団は、年間16万人を超えるボランティアに対し、ごみ袋の提供とごみの回収を無償でサポートしています。このボランティアと当財団という二つの清掃を連携させることで、さらに効果的で効率的な清掃を実施することができます。

令和3年度 上半期の主な事業

当事業団は地域活動の支援、水産振興を事業の柱として、種苗放流や研修会開催などの事業を行っています。本年度前半の主な事業活動を紹介します。

トラフグ・ヒラメ・マダイ・カサゴの種苗放流を実施しました。

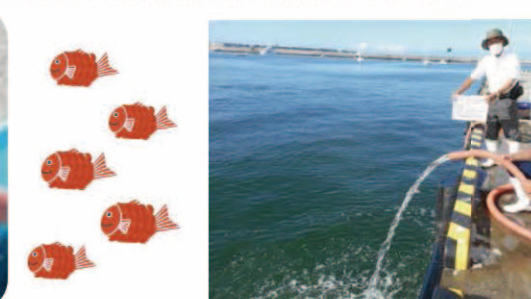
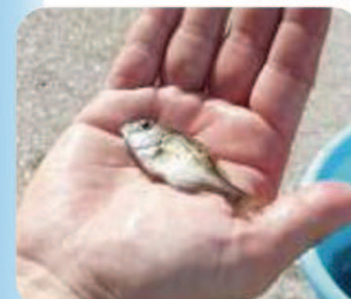
6月1日(火) トラフグ(平均全長83mm) 10,000尾を葉山港沖と齊田浜沖に放流しました。



6月29日(火) ヒラメ(平均全長62mm) 当事業団8,500尾と(公財)神奈川県栽培漁業協会分と両漁協購入分を合わせて、合計28,700尾を井尻漁港と齊田浜沖に放流しました。



7月21日(水) マダイ(平均全長55mm) 当事業団8,000尾と(公財)神奈川県栽培漁業協会分を合わせて合計28,000尾を大楠漁協卸売市場近くの岸壁から放流しました。



7月29日(木) カサゴ(平均全長80mm) 4,000尾を長井町漁協卸売市場近くの岸壁から放流しました。



※隣接する県立海洋科学高校長井実習場の先生方にお手伝いいただきました

7月1日(木) 神奈川県水産技術センターは、トラフグ(平均全長46mm) 53,900尾を齊田浜に放流しました。



トピックス

水中ドローンを水産業に活用

長井町漁協、県立海洋科学高校、慶應義塾大学、横須賀市の4者が連携して、水産業へのドローン活用の取り組みを開始しました。6月に県立海洋科学高校の3年生8人が、同校の小型実習船「わかしお」で長井漁港沖1キロに出て、水中ドローンを投入し、モニターを見ながら磯焼けが進む漁場での海中環境の調査を行いました。今後は、水産業等の実情を踏まえ、ドローンの幅広い活用を模索することで、漁業を取り巻く海洋環境の改善や新たな水産資源の活用、次世代の漁業を担う人材の育成を進めていきます。

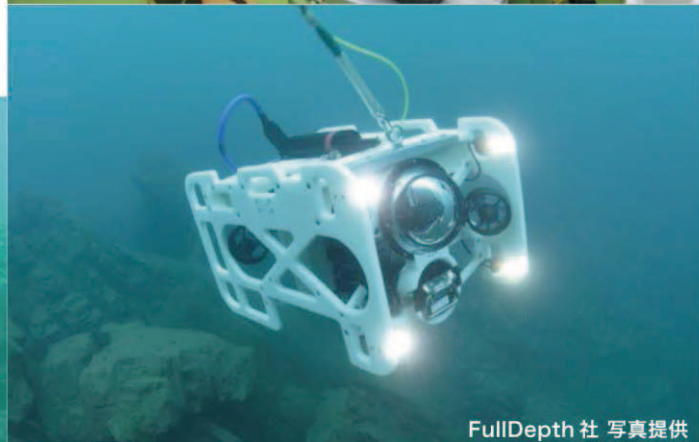
深度 10.6m 水温 22℃



水中ドローンにて撮影された磯焼けした藻場



県立海洋科学高校生徒による海中環境調査



FullDepth 社 写真提供

大楠海岸にハマグリを増やす取り組み



横須賀市大楠漁協は、5月末に千葉県漁協から購入したハマグリ(チョウセンハマグリ=汀線蛤)種苗約12,500個を大楠の海岸沖合に放流しました。

その後、7月始めに特別採捕許可によるハマグリ調査を実施したところ、平均37mmのハマグリ32個が採捕され、放流したハマグリが少しずつ根付いていることが確認できました。漁業者と共にハマグリが大楠の新たな漁業資源になることを期待します。



<コロナ禍の影響で今年度は中止になった事業>

- 1 荒崎海岸クリーンフェスタ2021初夏 (毎年6月上旬に実施)
- 2 富浦公園前海浜清掃 (毎年8月上旬に実施)
- 3 地元小学生によるヒラメ等稚魚の体験放流と中学生による海浜清掃

長井町漁協のホームページ・YouTubeができました。

ホームページアドレス
<http://jf-nagaimachi.info>

こちらのQRコードから読み取れます



Youtube

おっぺせ!ナガイch

で検索



令和3年度の役員及び評議員

令和3年4月1日「一般財団法人横須賀西部水産振興事業団」は、8年目をスタートしました。次の4名の役員に変更がありました。理事の原邦彦氏と原忠氏が辞任し、2名の新しい理事が就任しました。また、評議員の服部順一氏と成田肇氏が辞任し、2名の新しい評議員が就任しました。

役員(理事10名、監事2名)名簿

令和3年6月21日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	理事長	福本 憲治
2	副理事長	小澤 紳一郎
3	専務理事	谷 英明
4	理事	今井 利為
5	理事	梶ヶ谷 泰宏
6	理事	板戸 淳
7	理事	濱崎 喜健
8	理事	新倉 繁
9	理事	山田 利一
10	理事	平野 敏幸
1	監事	内田 康之
2	監事	藤村 幸彦

※下線は新任

評議員(10名)名簿

令和3年6月21日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	評議員	上之段 功
2	評議員	小杉 邦洋
3	評議員	清水 詢道
4	評議員	砂村 芳行
5	評議員	鈴木 秀雄
6	評議員	田中 達夫
7	評議員	鈴木 直樹
8	評議員	河西 勉
9	評議員	原田 洋治
10	評議員	樋爪 由幸

※下線は新任

令和2年度 決算の概要

令和3年6月21日に開催された令和3年度定時評議員会において、令和2年度の事業報告及び決算について承認されました。

令和2年度の経常収入(利息)は5,137,594円、支出は事業費及び管理費を合計して19,606,085円であり、当期経常増減額は14,468,491円の減となり、その減を基本財産の取崩及び繰越金支出により収支のバランスを取りました。この結果、正味財産期末残高は元年度末の残高より現15,795,055円減少し、465,463,815円となりました。決算の概要は次のとおりです。

決算の概要 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1)経常収益	
① 基本財産運用益	5,090,727円
② 雑収入	46,867円
経常収益計	5,137,594円
(2)経常費用	
① 環境保全事業	2,605,353円
海岸・漁港清掃助成金など	
② 調査研究及び保護培養事業	6,972,556円
小田和湾藻場分布調査費	
種苗購入費など	
③ 研修事業	1,042,681円
持続化給付金等申請手続研修	
④ 広報事業	789,762円
西部水産振興だよりNo.45、No.46製作費	
⑤ 経営安定事業	6,000,000円
漁業協同組合に対する経営資金等の助成金	
事業費計	17,410,352円

⑥ 管理費 2,195,733円

役員の会議出席報酬

関係団体年会費等負担金など

※人件費は各事業に配分し支出している。

経常費用計 19,606,085円

当期経常増減額 △14,468,491円

2. 経常外増減の部

(1)経常外収益	12,000,000円
(2)経常外費用	0円
当期経常外増減額	12,000,000円
当期一般正味財産増減額	△2,468,491円
一般正味財産期首残高	34,496,143円
一般正味財産期末残高	32,027,652円

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減の部	△13,326,564円
指定正味財産期首残高	446,762,727円
指定正味財産期末残高	433,436,163円

III 正味財産期末残高

正味財産期末残高	465,463,815円
----------	--------------